

展示

追悼企画 関連展示

「ドナルド・キーンが遺したものと日本語教科書」

○ 期間：2019年9月1日（日）～10月20日（日）

○ 場所：日比谷図書文化館3階 図書フロア エレベータ前ホール

○ 展示の見どころ：19歳のキーン氏が米国海軍日本語学校で使ったものと同じ教科書『標準日本語讀本』の復刻版を展示します。これは2012年にキーン氏が70年ぶりに対面を果たした際に、「教科書の傑作である」と高く評価した教科書です。今回の講師・河路由佳氏の調査研究により、この教科書を書き上げた長沼直兄（1894-1973）が「大変な読書家で、日比谷図書館の本を片っ端から読んでいた」といったエピソードも紹介します。その他、キーン氏の著作、交遊関係のあった人物の著作や、「写真で綴るドナルド・キーンのあゆみ」「太平洋戦争とドナルド・キーン」等のパネルも並び、キーン氏のメッセージを読み取り、新たな関心につなげて頂きます。

ドナルド・キーン（1922-2019）

米国コロンビア大学在学中に日本文学と出会い、米国海軍の語学士官を経て、1953年京都大学に留学。谷崎や川端、三島、安部、司馬らと交流し、近松や三島らの作品を英訳、日本人作家をノーベル賞受賞に働きかけた人でもありました。古典から現代文学に精通し、日本文学と日本の文化を世界に広く紹介、海外での日本文学研究の礎を築き、教育者としても多くの後任を育成。『百代の過客』『明治天皇』など多くの著作を遺し、日本への深い愛情を込め、私たち日本人にも日本文学の魅力と日本文化の美しさを再認識させてくれました。



主催： 千代田区立日比谷図書文化館

協力： 公益財団法人ブルボン吉田記念財団 ドナルド・キーン・センター柏崎

〈 お問い合わせ先 〉 千代田区立図書館

日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp / 中村 nakamura-shoko@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3340/ FAX：03-3502-3341

ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/